

医工連携ニーズマッチング会

岩手県臨床工学技士会様といわて医療機器事業化研究会が協力し、医療現場でご活躍の臨床工学技士の皆さまから医療機器開発につながる「お困りごと（ニーズ）」を発表いただき、その臨床現場のニーズに基づき、医療機器メーカー・ものづくり企業、大学・研究機関の連携促進を目指します。

日時 令和8年**2月4日(水)** 13:15～16:40
会場 プラザイン水沢 2階「ピュアホール」
(岩手県奥州市水沢佐倉河後田29 ※ 無料駐車場完備/300台)

【内容①】ニーズ発表会（7テーマ） 13:20～

- 岩手県臨床工学技士会所属の技士の方から、発表いただきます。
- 発表ニーズは裏面をご確認ください。
- 過去ニーズ集は、当センターHPよりご覧ください！

【内容②】基調講演 14:30～

「医工連携によるヘルスケア・医療分野の事業化事例と課題(仮)」

島根大学医学部医学科先進医療電磁工学共同研究講座 特任教授
POSH WELLNESS LABORATORY株式会社（東京）
代表取締役社長 **根武谷 吾 氏**



POSH WELLNESS LABORATORYは、北里大学の元准教授である根武谷氏が研究成果を事業化するために設立した法人です。「電気・磁気を用いた生体センシング技術」を活用した画像診断装置やウェアラブルデバイスの事業化例と事業化の課題（パートナー探し・マネタイズ）についてお話いただきます。



【内容③】臨床工学技士さんとの交流 15:50～

- 臨床工学技士会の方々との名刺交換・情報交換、ディスカッション。
 - 参加企業の紹介や、ニーズに係る質疑応答等をしていただきます。
- ※ お申込み時の希望ニーズに基づき、事務局にて班分けいたします。

懇親会（会費制） 17:15～

- マッチング会の閉会後に懇親会を行います。
- ニーズ発表をいただいた臨床工学技士の皆さまや根武谷氏との懇親を深める機会です。
- 会費：6,000円（税込） / 会場：プラザイン水沢 宴会場



「医工連携ニーズマッチング会」参加申込書

お申込方法 ① 右記のQRコードまたは、いわて産業振興センターHP「センターからのお知らせ」より
「医工連携ニーズマッチング会」開催案内ページから申込フォームに入り、
必要事項を記入の上、送信してください。
※申込期限 2月3日(火) URL : <https://www.joho-iwate.or.jp/>
まで もしくは



② 下記申込書に必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください。
件名に「医工連携ニーズマッチング会参加申込」と記入して、本文に必要事項を記入いただき
E-mailでお申し込みいただくことも可能です。
FAX : 019-631-3830 E-mail : t_suzuki@joho-iwate.or.jp

会社・団体	会社名・団体名				
	電話番号				
	申込担当者 E-mail				
参加者	氏名 1		懇親会 (会費 : 6,000円/人)	参加します <input type="checkbox"/>	参加しません <input type="checkbox"/>
	氏名 2			参加します <input type="checkbox"/>	参加しません <input type="checkbox"/>
	氏名 3			参加します <input type="checkbox"/>	参加しません <input type="checkbox"/>

発表ニーズ 7テーマ

関心がある ニーズに○を つけてください	No.	ニーズ名称	ニーズ概要	マッチング 想定企業
	1	マニホールドデバイス (小型)	移動時、酸素ボンベ2本つなぎ、片方の酸素がなくなったらもう一方のボンベに切り替わるようにするデバイス	省力化機械・ 治具製作企業様
	2	プロテクター消臭デバイス	頻繁に洗濯できないプロテクターを消臭・除菌できる機器・技術	消臭・乾燥関連 技術を有する 企業様
	3	薬剤の補充タイミングを知らせるレベルセンサー	人工心肺リザーバのレベルセンサーのように薬液のボトルやタンクに取り付け、薬液の残量が少なくなった際に知らせるもの。アプリ等と連動し、残量低下時に管理端末へ通知できるものが理想	センシング技術・ ソフトウェア開発 技術を有する企 業様
	4	ペースメーカー手帳記録プリンター	ペースメーカーについて、定期受診時の記録を手帳に手書きで記録している。そのような多様な手帳に印字が手軽にできるプリンターが必要	印刷関連技術 を有する企業様
	5	在宅呼吸器用結露防止カバー	在宅呼吸器の回路交換に行くと緩衝剤を巻いているため、その代替となる専用カバー	縫製・保温関連 技術を有する 企業様
	6	AIにより心胸郭比(CTR)や血液データからドライウェイトや治療条件を提案してくれるアプリ	AIにより推奨値を提案してもらい各種設定の参考にする	ソフトウェア開発 技術を有する 企業様
	7	酸素濃度計	アトムOX-300が販売終了したため、新生児領域などでの酸素付加した状態での酸素濃度監視ができる類似装置がほしい。 ※理想は酸素測定器と携帯電話・タブレットと通信できる無線通信+アプリケーションソフトウェア	センシング技術を 有する企業様



お問合せ 公益財団法人いわて産業振興センター ものづくり振興部 鈴木

TEL : 019-631-3822 E-mail : t_suzuki@joho-iwate.or.jp